

36 航空路線の維持について

(国土交通省)

【内容】

日本航空の再建に当たっては、中部地域の経済などへの影響に十分配慮し、中部国際空港及び県営名古屋空港の現在の航空路線の維持のため、公的支援を適切に講じること。

(背景)

- 日本の各地域と国内外とを結ぶ航空路線は、産業や観光など地域の様々な交流と住民生活を支える重要な役割を果たしており、各地域の経済発展はもとより、我が国の成長戦略上、不可欠な存在となっている。
- しかし、平成22年4月28日に日本航空から発表された「2010年度路線便数計画」による大幅な航空路線の廃止は、全国の航空ネットワークを破壊するものであり、利用者の利便性を損なうばかりでなく、経済・文化・生活のあらゆる面における連携・交流を遮断し、全国の活力を奪うものである。
- この計画では中部国際空港、県営名古屋空港ともに大幅な廃止が予定されており、特に県営名古屋空港に至っては9路線の全てが廃止となり、これが実施されれば当地域の航空ネットワークは壊滅的な打撃を受けることとなり、全国的にも当地域がもっとも大きな影響を受けるものである。
- 現在の航空路線は、我が国のモノづくりの中核である中部地域の産業の全国的な展開等に重要な役割を果たしている。
- 廃止される路線の多くは、地域が利用促進などで日本航空と協力しながら築いてきたものであり、これまでの地域の取組が水泡に帰すことになる。
- また、大幅な航空路線の廃止は、東京一極集中をさらに加速しかねず、政府が掲げる地域主権の確立に反するとともに、この地域の活力や競争力の低下を招く。

(参 考)

○ JALグループ、再生に向けた2010年度路線便数計画（抜粋）

国内線

【運休】

路線	便数変更(往復)	運休時期	運送会社	備考
名古屋(中部)=仙台	1日2便 ⇒ 運休	2010年10月1日～	JEX	
名古屋(中部)=青森	1日2便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JAL/J-AIR	
名古屋(中部)=鹿児島	1日3便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JEX	
名古屋(小牧)=帯広	1日1便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=山形	1日1便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=福岡	1日5便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=長崎	1日1便 ⇒ 運休	2010年10月31日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=秋田	1日2便 ⇒ 運休	2011年3月1日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=松山	1日2便 ⇒ 運休	2011年3月1日～	JAL/J-AIR	
名古屋(小牧)=新潟	1日2便 ⇒ 運休	2011年3月27日～	JAL/J-AIR	小牧撤退
名古屋(小牧)=高知	1日2便 ⇒ 運休	2011年3月27日～	JAL/J-AIR	小牧撤退
名古屋(小牧)=熊本	1日3便 ⇒ 運休	2011年3月27日～	JAL/J-AIR	小牧撤退

○ 中部国際空港・県営名古屋空港の廃止路線の状況

